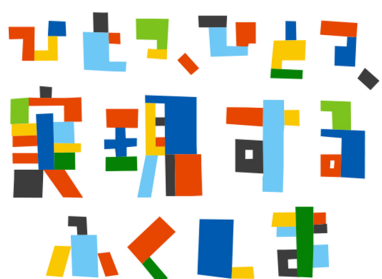


広報 ふくしんかい



桜峠のオオヤマザクラ（北塩原村） 撮影者：斎藤俊介



2024.3 第 **96** 号

発行：一般社団法人福島県鍼灸師会 福島県会津若松市門田町大字飯寺字村西366

目 次

ごあいさつ	1
一般社団法人福島県鍼灸師会 会長 代表理事 三瓶 真一	
令和 5 年度春期学術講習会参加記	2
会長 代表理事 三瓶 真一	
第 30 回郡山シティマラソン大会ボランティア活動報告	5
学術部長 益子 勝良	
令和 5 年度夏季学術講習会	9
地域医療推進委員会 委員長 柏原 修一	
第一回素人蕎麦打ち会～福鍼会蕎麦道場～	13
鍼灸女子委員会 委員長 太田 友理香	
東北鍼灸学会に参加して	15
広報・IT 委員会 委員長 三瓶 和樹	
青年委員主催講習会を開催して	19
青年委員会 委員長 品川 慶法	
会津医療センター開設 10 周年記念講座に参加して	20
監事・相談役 中沢 良平	
令和 5 年度冬季学術講習会を振り返って	24
財務部長 白井 和弥	
令和 5 年の暮れ 年越し蕎麦	28
会員 匿名の蕎麦爺	

ごあいさつ

一般社団法人福島県鍼灸師会

代表理事・会長 三瓶 真一

広報ふくしんかい第96号発行にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

はじめに、元日から能登半島沖を震源とする大きな地震が起き、石川県を中心に新潟・北陸地方で甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方へ一言お見舞いを申し上げます。

日頃より県民の皆様へは本会事業へのご理解など賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は、これまで数年にわたって私たちの生活一切を制限させてきた新型コロナウイルスも季節性インフルエンザと同じ感染症分類の第5類となり、ようやく普通の生活を満喫できるようになりました。これに先駆け、本会では公衆へのボランティアである郡山シティーマラソン大会へ施術奉仕の復帰が叶いました。このマラソン大会では3年間の休止を行い、復帰の際に受療者数が激減するかと大変危惧しておりました。実際には多くのランナーをはじめとする市民の皆様の受療があり、大変安堵するとともに改めて鍼灸治療への期待の大きさを実感しました。また同時に県内唯一の鍼灸専門業団体としての責任も大きく感じた次第です。

さて今年5月の仙台で、他団体主催ではありませんが東北では第3回目となる第73回全日本鍼灸学会学術大会宮城大会が開催となります。全日本鍼灸学会は、本邦では日本伝統鍼灸学会とともに世界鍼灸学会連合会加盟53か国178団体のうちの1団体です。毎年1回の学術大会では2,000名を超える参加者数を誇り、今年は臨時で日韓シンポジウムもプログラムに組み込まれた事実上の鍼灸の国際学会と言っても過言ではありません。この学会のトップである学会頭は東北大の高山真教授で副会頭は本会相談役・監事の中沢良平先生、大会実行委員長は私三瓶が仰せつかりました。この準備運営に多くの本会役員も深く携わっております。『つながり、通じ、いかす鍼灸ー多様性の探求と連携医療への展開ー』をテーマにしたこの大会を通し、オール東北で全国の鍼灸師のレベルアップを図っていきます。

このように、今年も本会の単独事業以外に協力関係にある他団体の事業へも協力推進を行い、県民の皆様へ提供する鍼灸医療の質をさらに高めていきたいと思っております。

この『広報ふくしんかい』をお手に取り、本会の1年間の活動をご覧いただければ幸いです。令和6年も変わらぬご理解ご協力をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

令和5年度春季学術講習会参加記

代表理事・会長 三瓶 真一

<本会の学術研修について>

本会は春・夏・冬の年に3回の定期学術講習会を開催しており、そのすべてが（公財）財団法人東洋療法研修試験財団の主管する生涯研修として開催しています。生涯研修の単位には基礎医学、医学教養、臨床、スポーツボランティア、学会参加などの科目があり、45分を1単位として25単位以上取得した者をその年度の生涯研修修了者として同財団に報告しています。また8年間の間に5回（5年間）修了した者は同財団の理事長から表彰されます。本会では2回の理事長表彰を授与されているものが多く在籍し、2~3年のうちに第3回目の表彰を受ける見込み者も多くいます。

本会主催の定期学術講習会のほか、全日本鍼灸学会東北支部の研修会や学術集会も単体に組み込み、関連する学術大会（学会）などを含めると、毎年75単位以上の研修会を会員へ案内しています。この単位数は国内の鍼灸団体では間違いなくトップクラスであり、納める年会費以上のメリットを会員へ提供しています。もちろん、こうした鍼灸師の自己研鑽は直接に鍼灸のレベルアップとなり、県民の皆様への健康福祉の増進に役立っています。

全国の他の鍼灸師会などが発行されてい

る色とりどり・内容も多岐にわたるさながらバラエティ雑誌のような広報誌を恵みただくときがあります。素晴らしい事業と目を引く構成の内容でとても関心致します。これとは真逆の、講習会の参加記を中心にした読み物中心の本会の『広報ふくしんかい』ですが、私は大変誇りに感じています。一行一行の行間に、開業鍼灸師がどのように切磋琢磨し、自身の鍼灸治療を高めようとしているか感じていただければ幸いです。

今年度の学術事業の嚆矢である春季学術講習会の開催記からここへ書いていきたいと思えます。

<4月23日・郡山労働福祉会館で

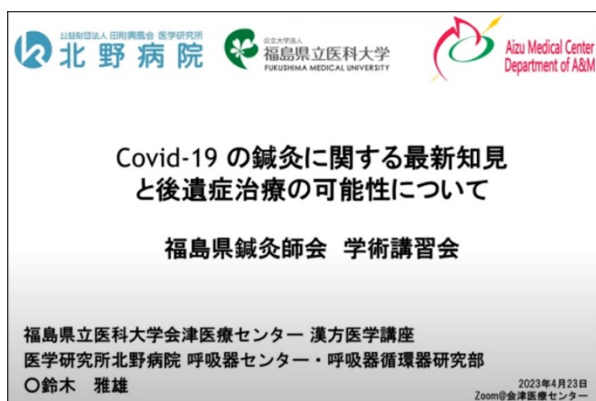
開催 春季学術講習会参加記>

演題：「Covid-19の鍼灸に関する最新知見と後遺症治療の可能性について」

講師：福島県立医科大学 会津医療センター附属研究所 教授 鈴木雅雄先生

あれほどまでに社会生活を混乱させて、初期には多くの命を奪った目に見えない新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症(Covid-19)でしたが、変異を繰り返すうち大方の予想通り『死の病』でな

くなって行きました。またさまざまな研究が進み、実は鍼灸を行うと重症化率や死亡率が大きく下がる、という研究が海外から発出されました。もともと呼吸器、特にCOPD（慢性閉塞性肺疾患＝肺気腫など）での鍼灸のエビデンスを世界に紹介した会津医療センターの鈴木雅雄教授にこの内容を春季学術講習会として講義していただきました。



Covid-19の鍼灸に関する最新知見 と後遺症治療の可能性について

この講習会は、会場参加のほか Zoom を使ったリモート併用のいわゆるハイブリッド開催で、しかも鈴木教授のご厚意で講習会後に 10 日間のアーカイブ放映をさせていただきます。

また多忙な鈴木教授で、この日は会津医療センターからのリモート登壇でした。

講義の初めに、単なる風邪と違う Covid-19 の特性や、なぜ重症化するのかなどの詳細な解説をしていただきました。すなわち、重症化する臓器の場所は、SARS-CoV-2 が細胞に感染する際の入り口のウイルス受容体として使用する ACE2 (angiotensin-converting enzyme 2) の発現分布と関連することを

説明されました。

SARS-CoV-2 感染の約 3% のケースで、免疫系の過剰反応によるサイトカインストームが誘導され、多臓器疾患が観察されるそうです。また、SARS-CoV-2 感染患者では、嗅覚の消失、味覚の変化、運動障害、吐き気、頭痛など神経系の障害が観察されることがあるそうです。

当初は感染した事実を他人に話すこともためらわれた Covid-19 でしたが、今ではもう気軽に話せるようになりました。そして、その後遺症の有無にやはりただの風邪ではなかったと、多くの方は口を揃えます。

この後遺症の症状は、Brain-fog と呼ばれる頭にモヤのかかったような状態や、うつ症状、倦怠感、脱毛など実に多岐にわたるようで、われわれ開業鍼灸院にも今後は来院が考えられます。いよいよ我々鍼灸師も Covid-19 を知り鍼灸の特性を生かして後遺症に悩む患者さんの役に立つ時期が来たようです。

SARS-CoV-2 は ACE2 を介して細胞に取り込まれますが、ACE2 は、呼吸器系の 2 型肺胞細胞、腸上皮細胞、内皮細胞、眼や腎臓の上皮細胞、肺胞単球細胞やマクロファージなど一部の免疫細胞、大脳皮質、脳幹などの神経系細胞などにも広く発現されているようで、初期の Covid-19 がなぜ重症化しやすかったのか、臓器不全などの症状が多かったのかなどの理由を知っておくことは非常に大切と思いました。

鍼灸実技では、会津医療センターの宮田先生による、アルツハイマー型認知症＋非

結核性抗酸菌症＋肺癌で SARS-Cov-2 陽性の 90 歳の入院患者さんへの鍼灸治療が披露されました。酸素飽和度も低く呼吸回数が多く、通常、高齢者ほど致死率が高い Covid-19 ですが、レムデシビルなどによる抗ウイルス薬治療に併用した鍼灸治療により 9 病日には酸素飽和度、呼吸数、体温も平常程度に回復された症例を紹介されました。

海外からの文献紹介では、イランのテヘラン大学医学部（テヘラン・ユニバーシティ・オブ・メディカル・サイエンス）で、抗ウイルス剤や解熱剤など通常の治療を行ったグループと、通常治療に鍼やカップング（吸角）を行ったグループの効果の比較についての発表があり、鈴木教授の解説とともに紹介いただきました。鍼やカップングを行ったグループでは、酸素飽和度が優位に改善し、呼吸数も優位に低くなっているということでした。最新治療に鍼灸を加えてより良い効果を出せることが RCT（ランダム化比較試験）で世界に示され、しかも中東の国からというのは鍼灸が世界の医療として根付いていることを感じさせてくれ、非常に心強く感じました。

国内では鍼灸の医療上の立場から治療としての Covid-19 は後遺症に対するものが主になってくると思われました。鈴木教授から後遺症としての原因を 2022 年発行の科学雑誌「Science」から紹介されました。Covid-19 の後遺症が起こる原因としては、1) (臓器などの) 慢性炎症を引き起こすウイルスがまだ残っている、またはウイルスの RNA の断片などが残ってい

る。2) 急性ウイルス感染後の自己免疫の亢進状態。3) マイクロバイオームまたはバイオームの腸内細菌叢によるもの。4) ウイルスにより侵襲から修復されていないなど大きな 4 つの原因が想定されているそうです。



オンライン登壇の鈴木雅雄先生

多くの感染者と犠牲者を出し、中には解熱後も後遺症に苦しむ方がいらっしゃる。私の身の回りにもそういう方が数人おり、特別な病気でないことがわかります。今後、鍼灸の効果のエビデンスが多数発出され、この分野でも鍼灸が現代医学を補完する有用な『医療』になることを願っております。

第30回郡山シティーマラソン大会ボランティア活動報告

学術部長 益子 勝良

2023年4月29日に開催されました第30回郡山シティーマラソン大会に福島県鍼灸師会でボランティア活動を実施致しました。これまでは第2回大会から毎年、福島県鍼灸師会としてボランティア活動を実施していましたが、コロナ禍になり、感染予防の観点から参加を辞退しておりました。今回は3年振りの参加となりました。

活動時間は8時30分から受付を開始し、12時で受付を終了とし、約4時間行いました。治療者は全部で19名（福島医療専門学校の教員を含む）、治療を実施した方は96名です。

【治療希望者区分】

●年代別

10代以下が3名、10代が4名、20代が10名、30代が17名、40代が25名、50代が22名、60代が9名、70代が3名、不明が3名でした。30～50歳代が全参加者の7割りを占めています。

●鍼灸治療経験の有無

経験なしが42名、1回が12名、2回以上が35名、不明が7名でした。

回数	経験なし	1回	2回以上	不明
人数	42名	12名	35名	7名

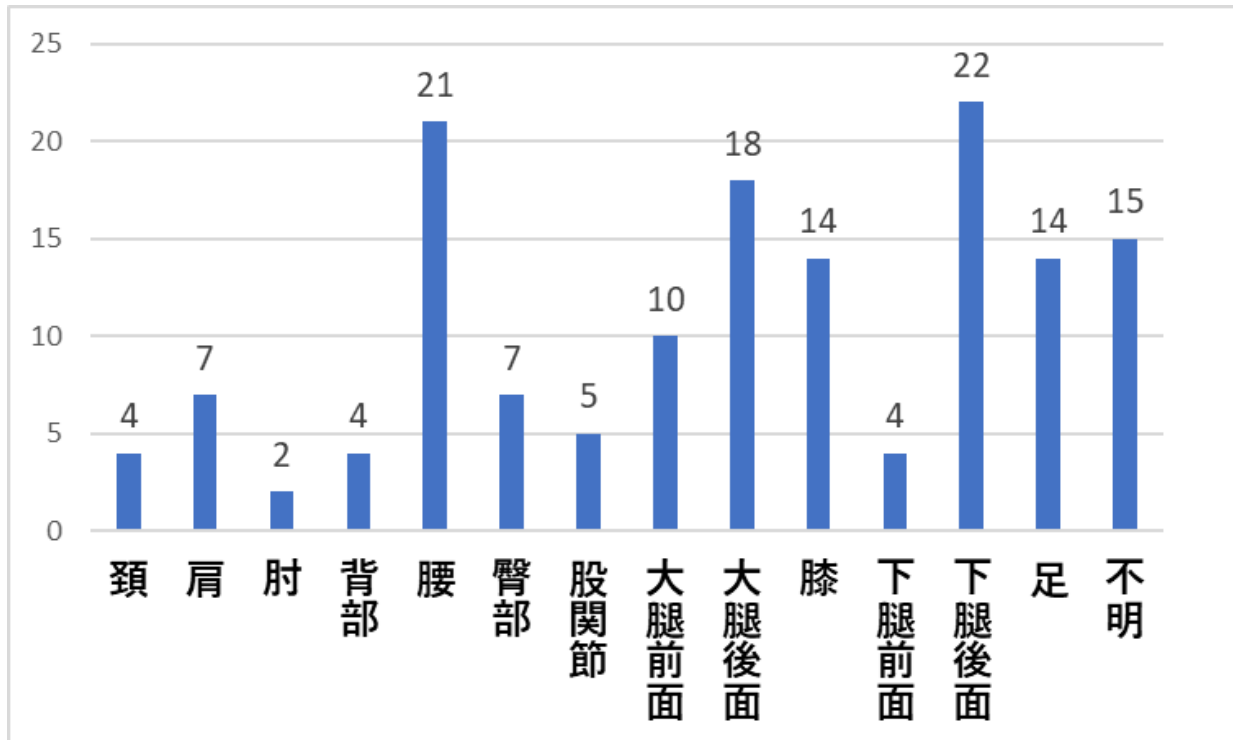
●治療方法の希望

鍼灸が19名、マッサージが41名、どちらでもよいが33名、テーピングが2名、不明が1名でした。

希望内容	鍼灸	マッサージ	どちらでもよい	テーピング	不明
人数	19名	41名	33名	2名	1名

●障害部位

最も障害が多かった部位は下腿後面、次いで腰、大腿後面でした。



【考察・結語】

今回、久しぶりの鍼灸治療ボランティア活動で治療希望者が少なくなると見込んでいましたが、結果は96名と3年前までの人数とあまり変わりませんでした。これは3年というブランクがあるものの、これまで長らく福島県鍼灸師会として活動を続けてきましたので、郡山シティーマラソン大会での鍼灸治療の根付いたのかもしれませんが。

また、治療希望者で鍼灸未経験の方は42名でした。マッサージ希望の方は41名で、鍼灸未経験の方が鍼は怖くてマッサージを希望しているのかと考えました。そのため、鍼灸未経験の方の治療の希望内容を確認したところ、鍼灸未経験42名のうちマッサージ希望の方は20名、鍼灸希望は6名、どちらでもよいが15名、テーピング希望が1名でした。未経験者でマッサージ希望は約半数、残りの方は鍼灸を受けたい、良くなればどのような方法でもよいという結果でした。鍼が怖いというイメージもあるとは思いますが、鍼灸という存在は知っているがなかなか触れる機会がなく、今回のような気軽に触れることができる場があり、少し体験してみようかなという方も含まれているのではないかと感じました。

希望内容	鍼灸	マッサージ	どちらでもよい	テーピング
人数	6名	20名	15名	1名

福島県鍼灸師会の活動目標には鍼灸の普及と市民・県民の健康維持に寄与するというものがあります。今回の活動で鍼灸の普及や市民・県民の皆様の健康維持に少しでも携われたらと思っています。また、今回は福島医療専門学校が治療見学や補助を行ってくれました。参加してくれた学生たちがどう思い、感じたのかはわかりませんが、福島県鍼灸師会としては学生にこのような鍼灸臨床に触れる場をなるべく多く提供し、質の高い鍼灸師になっていただき、将来ともに県民の健康に寄与していきたいと考えております。

福島県鍼灸師会が郡山シティーマラソン大会のボランティアに参加する目的は選手の健康増進だけではありません。災害時の避難所での治療も想定して行っております。このようなスポーツのイベントには医師、看護師、救急救命士というような多職種の方もいらっしゃいます。そのような方と日ごろから連携することにより、避難所での情報共有や意思統一がスムーズに図れます。また、限られた機材・スペースで行うことも避難所ではとても重要になってきます。現に東日本大震災や令和元年の台風19号の被災者に対しても避難所という限られた空間の中で治療を行ってきました。

反省点としまして、今回は屋外での治療となりました。大会当日は風が強く、砂埃がたつ中、極力衛生面に注意をしながら行いました。しかし、鍼を刺すという医療行為を行うため、なるべく衛生的な環境が望ましいことはいまでもありません。雨天や強風下などの荒天であった場合、雨水や砂塵などの吹き込みがある中での施術部位の露出、泥水で足元がぬかるんで汚れた状態での治療を考えると、衛生上非常に強い不安感があります。また、選手がレース後に治療を受けるため薄着になり、長時間風にあたると体が冷えてしまいます。受療者の安全性を考え、屋内での活動場所の要望や工夫が必要と感じました。

最後にこのような場を提供していただいた郡山シティーマラソン大会実行委員会事務局や当日の大会運営、休日や診療日にも関わらず治療ボランティアに参加して頂いた福島県鍼灸師会の先生方に感謝申し上げます。

ボランティア参加者リスト

氏名	治療院名	住所
三瓶真一	三瓶鍼療院	白河市北登り町5-1
三瓶和樹		
中沢良平	一寸法師ハリ治療院	郡山市安積荒井二丁目272
橋本修一	はりきゅう はしもと	いわき市常磐湯本町三函183-4
白井和弥	太田整形外科クリニック	郡山市不動前1-38-1
柏原修一	しゅう鍼灸院	いわき市平赤井字深田44-1
永山剛士	たけのこ鍼灸館	いわき市好間町下好間字渋井2-1
高橋吉明	赤田山はり・きゅうマッサージ接骨院	栃木県那須塩原市上赤田238-437
高橋加洋子		
鈴木暢弘	快生堂	郡山市島2丁目22-14
三村聡	コリとる鍼灸整体サロン	郡山市台新2-11-15
樫村絵美	ゆみ治療室	郡山市芳賀2丁目5-2
松岡伸幸	つつみ鍼灸整骨院	郡山市堤3-156
三村姫乃		
品川慶法	はりきゅう専門 善笑堂	郡山市大槻町字原ノ町29-4
益子勝良	鍼灸サロン libera	郡山市富久山町久保田字石堂68-16
千木良美歩	福島医療専門学校	郡山市並木3-2-23
菊地裕一		
星野舞		いわき市

令和5年度 夏季学術講習会

地域医療推進委員会 委員長 柏原 修一

2023年7月9日(日)郡山市労働福祉会館大ホールにて福島県鍼灸師会の令和5年度夏季学術講習会が開催された。

第1部【バイタルサインの解釈2「浮腫の解釈」】

福島県立医科大学会津医療センター

病院教授・総合内科学講座 講師 宗像 源之先生

第1部はおなじみ福島県立医大会津医療センターの宗源之先生による「浮腫診療の基本」であった。

まず、かの著名な内科医ウィリアム・オスラーの金言(Osler's Pearl)「徹底の質(Quality of Thoroughness)が紹介された。これは「医療者は勉強すればするほど患者を幸せにすることができる。こんな素晴らしい職業はない」との意味で、思わず背筋が伸びた。

以下に要点を示すが、用語の理解には昔習った化学の基礎知識が必要で、なかなかその場で理解するのは難しかった。



会場風景

1. 体液の分布

人間の総体液量は体重の60%である。体重60kgの人間は総体液量36Lであり、その内訳は40%の24Lが細胞内液で、20%の12Lが細胞外液である。細胞外液の内訳は細胞間質が15%、血管が5%となる。細胞間質とは細胞と細胞の間に存在する物質でコラーゲン繊維、細網繊維などの繊維成分および糖、タンパク質などで構成されている。

2. 浮腫の定義

間質液量増加によって起こる蝕知できる腫れ。間質への体液（生理的濃度の食塩水）増加によって生じる。浮腫部に貯留しているのは水ではなく食塩水であるのがポイント。

3. 浮腫の起こる5つのメカニズム

- ①静水圧の上昇
- ②膠質浸透圧の低下
- ③毛細血管透過性の亢進
- ④リンパ管の閉塞
- ⑤間質の膠質浸透圧上昇

4. 浮腫の病歴聴取

1) 症状

▶浮腫

- 「瞼が腫れぼったい」・「指輪が抜けない」・「靴がきつい」・「靴下の痕がつく」等。
ただし必ずしも浮腫を自覚していない場合もあり。
- 体重増加→高齢者の急激な体重増加は心不全の徴候なので要注意！体重は重要なバイタルサイン。

▶随伴症状→症状の OPQRST へ

2) 既往歴

▶注意すべき既往歴

- ①心疾患 ②腎疾患 ③肝疾患 ④甲状腺機能異常 ⑤悪性腫瘍の手術歴・放射線治療歴 ⑥外傷歴

3) 内服薬

▶薬剤性浮腫をきたす薬剤

- ① 降圧薬、狭心症予防薬（カルシウム拮抗薬）
- ② 降圧薬（ACE 阻害薬・ARB）
- ③ 鎮痛薬（NSAIDs）
- ④ ステロイド
- ⑤ 抗がん剤
- ⑥ 神経障害性疼痛薬（ガバペンチノイド）

▶利尿剤でも浮腫を起こすことがあるので要注意！

利尿剤投与→有効循環血漿量低下↓→身体は血圧上昇、抗利尿ホルモン分泌、交感神経系緊張→ナトリウム・水貯留↑→浮腫

5. 浮腫の診断

1) 浮腫の性状

▶圧痕性浮腫(Pitting edema)

皮膚（脛骨全面・足背・・・）を10秒間圧迫して圧痕が残る浮腫。間質に貯留した塩水のアルブミン濃度が低く流動性が高い場合、圧痕性浮腫になる。

▶圧痕が回復する時間(Pit Recovery Time)

① Fast edema <40秒：三か月以内の低アルブミン血症

② Slow edema ≥40秒：静水圧上昇（心不全、腎不全、静脈閉塞・・・）
／局所の感染症

▶非圧痕性浮腫(Non-pitting edema)

圧迫した後に圧痕が残らない浮腫。間質に貯留する成分とタンパクが結合し、間質内ゲルが増加している

2) 浮腫の随伴症状

浮腫は特徴的な症状ではないので診断するうえで随伴症状が重要

▶心疾患：呼吸困難・起坐呼吸・動悸・夜間頻尿

▶腎疾患：頻尿・尿の泡立ち

▶肝疾患：腹水貯留・意識障害

6. まとめ

- 浮腫は間質に貯留する生理的濃度の塩水である。水ではない。
- 高齢者の急激な体重増加は心不全の徴候なので要注意！
- 浮腫＝利尿剤ではない。利尿剤でも浮腫を起こすことがある。
- 浮腫は随伴症状（心・腎・肝疾患）の鑑別が重要



宗像源之先生

第2部【接触鍼治療について「ポリヴェーガル理論による鍼灸臨床の試み」】

第3部【接触鍼の意義と実技】

鍼灸 夢恵堂 院長 津田 昌樹先生

第2部は鍼灸 夢恵堂 院長の津田昌樹先生による講義であった。先生は精神療法の分野で新しく提唱されたポリヴェーガル理論（多重迷走神経理論）を鍼灸の臨床における自律神経由来の状態や症状の理解に適用させるべく取り組んでいる。

ポリヴェーガル理論「多重迷走神経理論」は進化論と神経生理学に基づき、Porges が1994 年から提唱し発展させてきた自律神経の適応反応に関する新しい理論である。この理論によると、哺乳類が獲得した新しい自律神経である腹側迷走神経と、それと連携協働する脳神経群が形成する腹側迷走神経複合体が、より原始的な自律神経（交感神経系、背側迷走神経系）をコントロールすることにより、最も適応的なストレス反応が可能になる。津田先生は経験上、鍼灸治療には臨床上、腹側迷走神経を活性化させる可能性があると考えている。

第3部は接触鍼の実技であった。学生時代に少し習ったことがあったがそれ以来であり、普段は刺入鍼しか使っていないので触れただけでどの程度の効果があるのか興味津々で講義を聞いた。

接触鍼の特徴は直接「気」に働きかけるもので「痛くない」「皮膚の点ではなく面を治療対象にする」「感染のリスクがほとんどない」等がある。実際実技を見ると鍼を皮膚面に接触させるだけで筋の硬結が柔らかくなっており、その効果を実感することができた。ただ繊細な鍼の操作が要求されるのでかなり練習する必要がある。

筑波技術大学の鮎澤聡先生によれば、脳科学分野の研究では身体への強い物理的刺激は局所的には効果があるがときに全体を壊すリスクがあること、一方微弱刺激は身体全体に影響を与えて自然治癒力に良い影響を与える可能性があるとのことなので、接触鍼法の価値が見直されてきていると感じた。



津田昌樹先生

第一回素人蕎麦打ち会～福鍼会蕎麦道場～

鍼灸女子委員会 委員長 太田 友理香

2023年8月20日（日）久々に講習会以外での交流会として素人蕎麦打ち会を開催いたしました。去年も計画していましたが新型コロナの感染状況を踏まえ開催を見送っていましたが、今年の夏は各地で記録的な猛暑に見舞われました。当日は雷の予報も出ていたので天候を心配していましたが、最高気温 34℃最低気温 23.4℃で晴れとなり湿度があって暑いくらいでした。



白河市 関の森公園

場所は白河市関の森公園水車小屋。白河の関に隣接した公園でその中の水車小屋がそば打ち道場になっています。参加者は、会員 13 名と会員の家族 11 名（子供 8 名）、会員外 4 名（講師の先生 2 名）合計 28 名と募集からあっという間に人数が集まりました。開催地である白河はもちろ

んのこと、いわき、郡山、会津など様々な地域から参加いただきました。

今回使用した蕎麦粉は、会員の高橋吉明先生が夏の新蕎麦の中から厳選して日光市今市産を注文してくださいました。サラサラとした上品な蕎麦粉だったので素人が打つには少し難易度が高かったようです。

蕎麦打ち体験では、全国麺協会 4 段（審査員）の関根浩先生のご指導のもと子供達中心に行い、蕎麦をのぼす作業に入ると粉まみれになりながら一生懸命取り組んでいる姿がありました。名人の方の手捌きは見事でみなさん見とれていました。



関根浩先生

水車小屋で打った蕎麦を関の森公園内にある交流センターの調理室で、もりそばにしてネギとワサビ、大根おろし、漬物を添えて出来立てを皆さんと一緒にいただく事が出来ました。調理室では、プロにコツをご指導いただきながら、茹でて、水でさらして、盛って、配膳してと福鍼会のチームワークを発揮してスムーズに行うことができました。子供達もおかわりを沢山して、大人もお腹いっぱい食べ満足された様子でした。



みんな楽しくそば打ち体験

美味しい蕎麦が食べ放題で提供できて、更にお持ち帰りできるほどに準備できたのは、なんととっても講師の先生方と会長の三瓶先生が早朝から用意してくださったお陰です。皆さんを代表して御礼申し上げます。（もちろん、その日の我が家の夕食はお蕎麦でした。）



完成した蕎麦

第一回蕎麦打ち会は、家族ぐるみの交流会で来年も開催出来たらというお声もありました。今回都合が合わず参加出来なかった先生方、次回は是非ご参加お待ちしております。会員優先で募集いたしますので、宜しくお願いいたします。



茹でたての蕎麦をいただきました



東北鍼灸学会に参加して

広報・IT委員会 委員長 三瓶和樹

この度、令和5年9月2日・3日に岩手県で行われた東北鍼灸学会に参加、発表してきました。発表に先立ち、昨年3月に行われた第4回医療連携講座に参加してきました。そこでは医療の共通言語を用いて情報を共有しなければ、鍼灸師以外の医療従事者と連携することは出来ないということを知りました。今回発表するにあたって、意識できたように思います。

発表テーマは、男性不妊です。8月に長野県で男性不妊について講師をさせていただいた経験から、発表しているイメージが湧いてきやすかったことと、女性だけでなく男性に原因がある不妊症も多く存在することを知ってほしいと思ったからです。

会場へは会長の運転する車に白井先生、品川先生と3人で乗り込み、世間話に花を咲かせながら4時間半の大移動でした。

初日は美容鍼灸で名高い上田隆勇先生の講演と他県の先生の症例発表がありました。どの先生も堂々と聞き取りやすく発表されていて、練習不足の私は少し緊張したのを覚えています。しかしその緊張も束の間で、ウイスキーを注ぎ合う懇親会で打ち消されてしまいました。二次会は川沿いにある雰囲気の良いお店で、他県の先生と一緒に盛り上がり、会計は良い気分の三瓶会長がまとめて払っていただきました。そんなこんなで同じく良い気分でホテルに帰りました。

二日目は発表当日にもかかわらず、喉が酒で焼けておりました。喉をいかに早く治すのに気を取られて緊張する暇もなく、時間が過ぎていきました。発表までに喉の方は完治し、万全な状態で臨むことができましたが、質疑応答で質問してくださった先生の意図に気付かず、質問の通りに答えてしまったのが心残りでした。



大会が終わり、福島へ帰る途中に会長にご馳走になった鰻は、肩の荷が降りたこともあり格別の味がしました。もしまた発表の機会がいただけるのであれば、今回の反省を活かし、落ち着いて質疑応答ができればと思います。

この場を借りて、運営に携わったスタッフの皆様、発表の機会をくださった福島県鍼灸師会の先生方に心より御礼申し上げます。

次ページに研究、発表してきた内容を記載させていただきます。ご覧いただくと幸いです。

鍼灸治療により精液所見が改善した一症例

一般社団法人福島県鍼灸師会 三瓶 和樹

【はじめに】なかなか子宝に恵まれず、男性不妊を疑って来院した患者について鍼灸治療を行い、127日26回の治療で精液所見が有意に改善したので報告する。

【症 例】33歳 男性 消防士

【初 診】X年11月下旬

【主 訴】男性不妊の疑い

【現病歴】X-1年5月に結婚し、1年5ヶ月間避妊せず夫婦生活を営んでいるが妊娠に至らない。自分に原因があるのではないかと思い、精液の測定ができる当院に来院した。

【既往歴】特記すべきものなし

【診察所見】食欲、二便に異状なく、性欲も普通にある。特記すべきものはないが、消防士という職業柄、常に重労働や夜勤を含む長時間の勤務や、不規則な就労状態からストレス状態や疲労状態がうかがえ、疲労のせい、筋肉が強張っている。初診時に射精1時間以内の精液原液をマクラチャンバーに5 μ lのせて200倍で検鏡し、手動のカウンターで計測した。初診時の精液所見は精液量 1.7ml、精液濃度 2200万/ml、精子運動率 31.4%であった。精液所見上は WHO の精液測定基準(2021年版)を満たしているが、正常な妊孕力のある日本人の5割以下程度と思われた。

【精液の条件】禁欲期間は二日とし、射精してから1時間以内の精液を容器に入れ、外気を遮断するよう、タオルで包んで持参してもらった。

【精液測定方法】小数点以下第二位まで計ることが可能なタニタの食品用精密測りを使用し、精液の重量を測る。精液の比重は水と同じで1mlあたり1gであることから、総重量から容器の重量を引くと精液の量を求めることができる。

【WHO の精液検査基準との比較】WHOの精液検査基準というものは、一般男性の平均の数値ではない。一つでも下回ると一年以内に妊娠することが不可能であるという下限の数値である。今回の症例と比較してみると、精液量と精液濃度の二つはWHOの精液検査基準を超えているものの、運動率は下回っていた。このことから今回の症例は、一年以内に自然妊娠する可能性が非常に低いと言える。

表1

WHOの精液検査基準(2021)

精液量	1.6ml
精液濃度	1600万/ml
総運動率	42%

表2

症例の精液所見	
精液量	1.7ml
精液濃度	2200万/ml
総運動率	31.4%

【インフォームドコンセント】男性側にのみ原因がある場合は、やや悪い程度の精液所見が改善すれば早期に自然妊娠する可能性があるかと伝えた。また精液所見が改善後、一定期間夫婦生活を営み、妊娠に至らない場合は、女性不妊の可能性を考慮し、専門医に紹介することとした。

【鍼灸治療】疲労の解消、ストレスの軽減を目的に全身の硬結などへの散鍼を行った後、左右の陰部神経刺鍼点～腎俞の鍼通電を3Hz15分行き抜鍼し、透熱灸半米粒大3荘施灸した。その後、仰臥位で沢田流足五里付近の最大圧痛点と三陰交へ3Hz10分間鍼通電をした。

【経過】治療開始から12週は週2回の治療をし、12週経過後は週1回の頻度で合計26回の治療を行い、その間1ヶ月ごとに1回の精液測定を行った。精液所見の経過（表3、表4、表5）は、12回の治療で精液量は3.5ml、精液濃度が1600万/ml、運動率は29.1%、20回の治療で精液量が3.5ml、精液濃度が3500万/ml、運動率が22.2%、23回目で精液量が4.5ml、精液濃度が5750万/ml、運動率は53.9%、26回目の治療の前に精液を測定したところ、精液量が6.5ml、精液濃度が1億6500万/ml、精子運動率が53.8%と著明に改善した。

表3

経過（精液量）

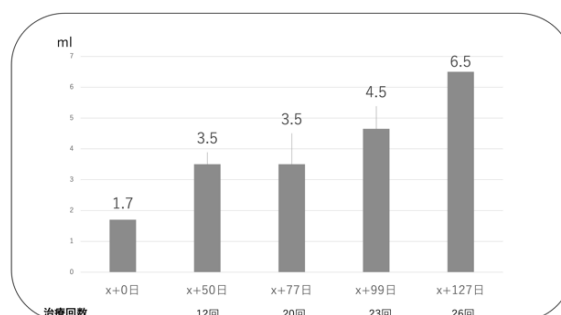


表4

経過（精液濃度）

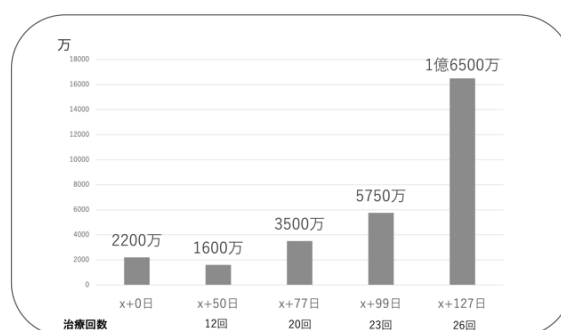
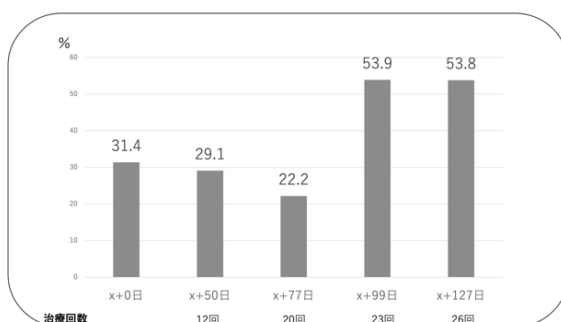


表5

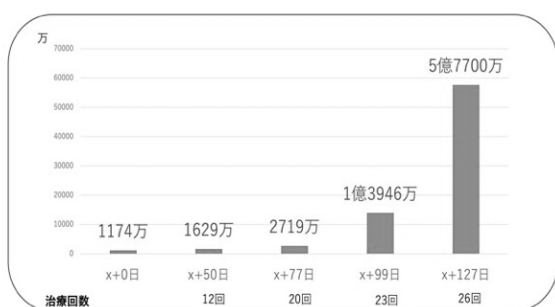
経過（総運動率）



精液量(ml)×精液濃度(/ml)×運動率(%)で求めた総運動精子数は、一射精中の精液全量中の運動精子の数になるので、自然妊娠に関わる精子の数とすることができる。総運動精子数の経過（表6）は、治療開始前が174万、12回治療後が1629万、20回治療後が2719万、23回治療後1億3946万、26回治療後が5億7700万

であった。運動率は治療 12 回治療後、23 回治療後と低下していたが、精液量や精液の濃度が増加していたため、総運動精子数はわずかに増加した。運動率も大きく上昇した 23 回治療後からは初診時の 12 倍弱、26 回は 50 倍以上に増加した。(図 1、図 2：初診時と 26 回治療後の検鏡時の写真)

表 6
経過 (総運動精子数)



【考察】12 回治療以降に測定した結果では、精液量が改善している。精液の大半を占める前立腺液や、精嚢腺の分泌が早く改善したからだと考えられる。一方、精液濃度や運動率は治療 23 回以降(80 日以降)に大きく改善している。これは精祖細胞が精子になるまで約 80 日かかると言われており、精子形成が始まる前から鍼灸治療が

介入することによって、精子濃度、運動率が大きく改善したと考えられる。

他の数症例がほぼ同様の経過である。今回は一症例報告だったが、今後は複数の症例を集めデータ化し発表していきたい。

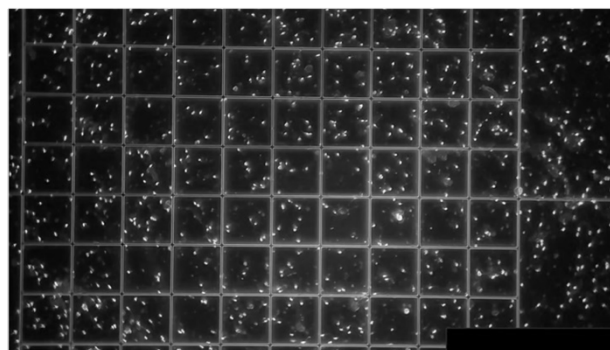


図 1
初診時

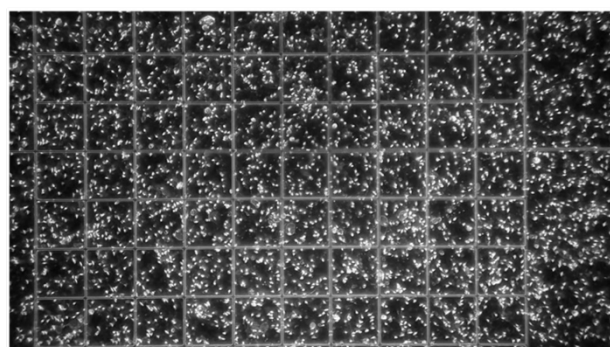


図 2
26回治療後



一般社団法人

福島県鍼灸師会

福島県唯一の鍼灸専門の団体です。

会員の学術的・技術的な知識、内容の充実をはかり、社会への鍼灸の普及と健康維持、公衆衛生への寄与を目的として活動しています。

鍼灸（はりきゅう）治療で
福島県民の皆さまの健康を守ります。



福島県鍼灸師会のホームページです。
福島県鍼灸師会会員の治療院を探せます。

青年委員主催講習会を開催して

青年委員会 委員長 品川 慶法

令和5年9月17日(日)青年委員主催で開催しました。2019年以来3年ぶりに青年委員主催として会場を借りて、参加者を募集しました。講師は3月に著書『図解 経絡と解剖学』を出版されました吉田啓先生をお呼びし、何故今回の著書を執筆されたのかなどを中心に大変興味深いお話をいただきました。これからの時代、医師などとの共通言語を持つておくことで鍼灸師と医師との医療連携に関しても行いやすくしていく為に大変参考となる内容でした。

様に行う医療面接や資料内容、治療方針の説明にも大いに実りあるものであったと思います。来年度以降もこの講習会をシリーズ化し本書の内容を鍼灸学生や新米鍼灸師や若手鍼灸師が臨床の場でしっかり活用し臨床の質が少しでも向上できるきっかけを青年委員として提供しながらサポートしていきたいと思います。

最後に反省として、今回の講習会を開催するにあたり先輩方の配信技術や進行の仕方、もっと初歩的な講師の先生への講演依頼などなど会長をはじめベテラン理事の先生方のお力がなければ青年委員だけでは到底開催することはできませんでした。今後青年委員の力だけで本会にも引けを取らない講習会やイベントを開催していけるように、若い力を合わせて企画力、開催力、配信力などを共に鍛えていきたいと思います。令和6年度はこの講習会で痛感した様々な反省点を生かしより活動的に動いていきます。

福島県鍼灸師会青年委員会主催講習会

経絡と解剖学
-東洋医学を根拠あるものとするために-

講師
はりきゅう治療院
伍行庵 院長

著者 吉田啓先生

令和5年9月17日(日)14:30~16:00
会場: JR郡山駅隣 ビッグアイ郡山市民プラザ7階第1会議室
ZOOMオンライン共催 講演後10日間アーカイブあり

参加費
福島県鍼灸師会 正会員 無料
福島県鍼灸師会 学生会員 無料
日本鍼灸師会 会員 3,000円
全日本鍼灸学会 会員 3,000円
一般 4,000円 / 一般学生 1,000円
会場30名 リモート50名限定

参加申込期限・その他
令和5年9月14日(木)まで
下記本会ホームページより申し込みください。期限内送金をお願いいたします。

学会 C講座1ポイント
財団生涯研修 臨床2単位

一般社団法人 **福島県鍼灸師会**
お申込み・お問い合わせは下記のホームページより
<https://fukushima-harikyuu.jp/>

青年委員会主催の講習会ポスター

経絡と解剖学をリンクさせて考え、理解を深めていくことは普段の診療の中で患者



会津医療センター開設 10 周年記念講座に参加して

監事・相談役 中沢 良平

11月4日、会津若松駅に向かう磐越西線の車窓からは深まる秋の景色がありました。刈り取られたばかりの稲田には、ある種の清々しさを感じ取れ、線路脇にたなびくススキは、やがて降る雪を手招いているかのようでした。まさに実りの秋を過ぎ、来春に芽吹く準備を始めたかのようです。

赤べこと白虎隊の紅白のコンビが出迎える会津若松駅から歩いてほどなく、会場のワシントンホテルに到着します。その飛翔の間で、福島県立医科大学会津医療センターの漢方医学講座附属研究所漢方医学研究室開講 10 周年を記念した学術集会が開催されました。テーマは「我が国における漢方医学の現状と将来」です。会場は満席で、後日発行された地元新聞によると約 100 名の参加があったそうです。後ろまで埋め尽くされた会場は、外の寒さなど関係なく熱気で包まれていました。学術集会のプログラムはシンポジウムと三瀧忠道先生の最終講義の二部構成です。

一部のシンポジウムでは、日本東洋医学会前会長の伊藤隆先生による「湯液治療の現状と将来について」、日本薬用機能性植物推進機構代表理事の渡辺均先生による「生薬栽培が地域を支える ～国産生薬の安定

供給のために～」全日本鍼灸学会会長の若山育郎先生による「我が国における漢方の将来像 ー日本鍼灸の現状とあるべき姿ー」の3題が講演されました。座長には、東北大学大学院医学系研究科漢方統合医療学共同研究講座特命教授の高山真先生と私が務めました。高山先生は、来年宮城県仙台市で開催される第 73 回全日本鍼灸学会学術大会宮城大会の大会会頭を務められます。日本を代表する湯液、生薬、鍼灸の漢方医学の権威が登壇し、我が国の漢方医学の現状と将来について語り合う光景は、会津といったローカルな環境を超え、日本全国に発信しても良いほど重く充実しており、今後の漢方の方向性を示唆する内容でした。こうした重鎮の皆様と一緒に地方の開業鍼灸師が同じ壇上に立てたことはありがたく、他の鍼灸師の励みにもなったと思います。



(左) 高山 真先生 (右) 中沢 良平先生

三者のシンポジストから感じ捉えたキーワードは、教育研修、ポリファーマシー（多剤併用）、医療費削減が上げられると思います。特に高騰する医療費の削減のために湯液、鍼灸が直結する問題としてのポリファーマシーへの対応として示されたのだと思います。また、ヘルスケアを一次予防として位置づけ鍼灸を推進することにより有用性が発揮できるとも示唆されました。

私たち鍼灸の分野では若山先生が「日本鍼灸のあるべき姿」として下記の5項目をあげました。

1. 国民に信頼され、医師と連携しつつ標準的な鍼灸施術を行うことができる鍼灸師、また、西洋医学専門域で医師による医療を補完できる鍼灸師、いずれもが活躍できる場がある。

2. 我が国の鍼灸用語とその定義が完成、さらにはそれらの英語版を作成し、必要に応じてすぐに世界に示すことができる状態にある。

3. 全国の鍼灸師が共通して使用できる電子カルテが用意されており、さらにはそれらのデータを統合し解析できるシステムがある。

4. 日本人を対象とし、日本式鍼灸で施術した症例を用いたエビデンスが構築されている。また、電子カルテによるビッグデータを利用したエビデンス構築が可能なシステムがある。

5. 鍼灸学系大学及び鍼灸師養成校が「鍼灸学教育モデル・コア・カリキュラム」

を実践できている。また、それが鍼灸学テキストやはり師・きゅう師国家試験出題基準に反映されている。

これらを実現するために全日本鍼灸学会は具体的に活動を展開しています。例えば、認定鍼灸師制度の改革、鍼灸学用語集・用語事典の作成、鍼灸電子カルテ実用に向けての整備、鍼灸のエビデンス構築方法の模索、鍼灸学教育モデル・コア・カリキュラムの策定です。全てが単独ではなく、これらが絡み合っただけの活動で、ICD-11 やカルテのプラットフォームからエビデンスにまで、流れるような連携・連動が求められると感じます。

詳しくは、抄録集に掲載されたものを転載することを許されましたので、この稿の最後に紹介します。是非ご高覧いただき、鍼灸師には同じ方向に進むことをお願いしたいと思います。

三瀨忠道先生の最終講義「病棟を持つ漢方医をめざして」では、先生ご自身の幼少期の話から始まり、医師を志した思いを知る機会となりました。まさに日本の湯液発展のために生まれてきた先生だと思います。

三瀨先生は湯液の権威だけではなく、会津の地場産業としての生薬づくり、特に会津人參や只見の芍薬栽培に奮闘され、地産地消といった地域に合った地域活性にも尽力されたことを知りました。演題名には「病棟を持つ」とありますが、地域に根ざす漢方医でもあります。

学術集会が終わると会場を双鶴の間に移し三瀧忠道先生の退任祝賀会が催されました。福島県立医科大学関係者のみならず、東洋医学に関する重鎮の先生方もおられました。鍼灸では日本鍼灸師会から会長と三名の副会長が出席され、私たち福島県鍼灸師会からは、三瓶真一会長はじめとして18名の参加があり、おおいに盛り上がりを見せました。



(左)田原英一先生 (右)三瀧忠道先生ご夫妻

引き継ぎ式では後任教授の田原英一先生がご挨拶をされました。穏やかに話される姿にも、三瀧先生が築かれた漢方医学講座のこれからを背負う重責の覚悟が伝わってきます。漢方医学講座には教授の鈴木雅雄先生もおられますので、益々のご発展が期待されますし、全国からの注目も大きくなることでしょう。

会津若松駅に向かう磐越西線の車窓から見た晩秋の景色は、実を結び、種となり、やがて芽が出て花が咲く、そうした清々しさを感じていたのかもしれませんが。今回の学術集会も、三瀧先生が蒔いた種が大輪の花を咲かせ、実を結び、田原先生に渡されたのです。

三瀧先生からは福島県鍼灸師会の顧問として長年お力添えを惜しみなくいただきました。全日本鍼灸学会では、ふくしま大会の大会会頭として強いリーダーシップを発揮され、盛会へと導いてくださいました。感謝の言葉しかありません。

今回の学術集会に参加して、三瀧忠道先生は人と地域と国家に役立った実り多き人生だったとわかりました。

ありがとうございました。

これからも三瀧忠道先生のご健勝とご活躍を心よりご祈念しています。



1. シンポジウム 我が国における漢方医学の現状と将来

講演③ 我が国における漢方の将来像－日本鍼灸の現状と将来あるべき姿－

公益社団法人 全日本鍼灸学会 会長
関西医療大学 名誉教授
若山 育郎

【はじめに】

鍼灸は古代中国から伝来したが、その後我が国で独自の発展を遂げた。室町～安土桃山時代の打鍼法、江戸時代の管鍼法、明治～大正時代における小児はり、昭和前期における養生灸、経絡治療などはいずれも日本発の道具、手技、治療法で特筆すべきものである。それらを後世に継承するとともに、真に国民の健康に資する鍼灸を確立していかなければならない。

また、1990 年代以降の世界的な EBM の潮流は我が国の鍼灸界にも大きな影響を及ぼした。2000 年代には欧米における大規模臨床試験の成果が次々と公表され、鍼灸のエビデンスが明らかになった。我が国においても EBM の考え方と実践は発展したが、その質と量では欧米に大きく遅れを取っている。

【日本の鍼灸界で現在取り組んでいる活動】

このような現状を踏まえて、現在、鍼灸界ではいくつかの取り組みを行っている。主なものを紹介する。

1. 認定鍼灸師制度の改革（全日本鍼灸学会）
2. 鍼灸学用語集・用語辞典の作成（全日本鍼灸学会、日本東洋医学学会）
3. 鍼灸電子カルテ実用に向けての整備（JLOM 鍼灸 6 団体）
4. 鍼灸のエビデンス構築方法の模索（全日本鍼灸学会）
5. 鍼灸学教育モデル・コア・カリキュラムの策定（鍼灸学系大学協議会）

【日本鍼灸の将来あるべき姿】

現在進行中のこれらの取り組みは、今後の日本鍼灸にとって極めて重要なものとなるが、「日本鍼灸のあるべき姿」を踏まえた上で進める必要がある。そこで、上記の項目別に「将来あるべき姿」を追加する。

1. 国民に信頼され、医師と連携しつつ標準的な鍼灸施術を行うことができる鍼灸師、また、西洋医学専門域で医師による医療を保管できる鍼灸師、いずれもが活躍できる場がある。
2. 我が国の鍼灸用語とその定義が完成、さらにはそれらの英語版を作成し、必要に応じてすぐに世界に示すことができる状態にある。
3. 全国の鍼灸師が共通して使用できる電子カルテが用意されており、さらにはそれらのデータを統合し分析できるシステムがある。
4. 日本人を対象とし、日本式鍼灸で施術したエビデンス構築が可能なシステムがある。
5. 鍼灸学系大学及び鍼灸師養成校が「鍼灸学教育モデル・コア・カリキュラム」を実践できている。また、それらが鍼灸学テキストやはり師・きゅう師国家試験出題基準に反映されている。

【今後の方向】

以上を着実に整備するとともに、「ヘルスケアとしての鍼灸を推進」することも重要である。

令和5年度 冬季学術講習会を振り返って

財務部長 白井 和弥

【冬季学術講習会】

(12月17日・郡山市
・ビッグアイ市民交流プラザ)

私たち、福島県鍼灸師会では年度内に3回の定期講習会を開催しています。

春季、夏季を経て今年度最後の講習会の講師に筑波技術大学より鮎澤聡教授、また茨城県立医療大学より石山すみれ助教にお越しいただきました。

今回もZoomオンラインによる併催で、当日は会場参加者とリモート受講参加者合わせるとおよそ50名近くの受講者が集まりました。オンライン配信には、機材と人と通信環境、マイクやカメラワークなど…運営する側に立つと当日になっている色々な事態が起きて、臨機応変に対応しなければなりません。現在は、三瓶真一会長が取り仕切っているZoom配信の準備と運営を、今後は私たち次世代の会員が担うとなると肩の荷が重いですが、協力しながら「良い講習会」の運営に取り組んで頑張っていきたい所存であります。

●第1部

「つながりで生きる鍼灸

—健康・生命・宇宙—

講師：鮎澤 聡先生（筑波技術大学 教授）



鮎澤聡先生

鮎澤聡先生は脳外科、その中でも「機能神経外科」を専門とされております。例として神経への電気刺激療法（ニューロモデュレーション）がございませう。パーキンソン症状の患者への深部脳刺激術・術前術後の動画を拝聴しましたが、うまくいくと劇的に動作が速くスムーズになる症例に驚きました。

演題名のとおり、鮎澤先生の講演はスケールが大きい内容であります。現代鍼灸と伝統鍼灸の相違、生体の機能、それについての機能的治療とは何か？具体的には「鍼通電」は鍼を電極とするニューロモデュレーションとして科学的に理解しやすいが、「伝統鍼灸」は科学的に理解しにくい理由があります。

『伝統鍼灸』→ 非物質的、微弱刺激、人が関与、自然治癒力など

こういった、外部観察できない物を理解するには「新しい知」となる医療哲学が必要であるということです。鮎澤先生の講演は、時に哲学的な要素が加わり、部分的に理解したようなつもりでも難解で、講演の全体像が見えたのは私自身「アーカイブ視聴」してからでした。

そもそも「科学」とは正しいのか？という話で、科学とは「物事を解釈する枠組み」の1つであります。視覚化、数値化できないものは「非科学的・間違い」ではありません。生体の機能（生命、感情）そのものは外部観察不可能です。「喜んでいる人」は見えても「喜び」という感情は見えない。「機能」に目を向けて生体を捉え直すこと、これが鍼灸手技療法の可能性を見出すことに繋がるわけです。

西洋医学は「器質的治療」が得意で、原因を局在して操作できる疾患には偉力を発揮します。しかし原因が外部観察できない場合は摘除・抑制・補充など何もできません。器質的治療の限界として、悪者たる病巣・原因物質が見つけれないと効果的な処置が施せないわけです。ということで、生体を機能的立場から捉え直して、「振動（リズム）の集合体」として生体には一体性（秩序性）があると考えます。この秩序性は機能し合いながら生体維持をしています。生体の秩序性に可干渉性（コヒーレンス・Coherence）なのが機能的治療たる鍼灸手技療法であり、相互干渉による機能の生成への可能性があります。鍼灸という「微弱刺激」は「生体の秩序性」へ効果

を発揮している可能性は、施術により治療部位以外の体調が良くなったりすることもあり、相互干渉による機能的治療が全人的な治療効果を生む理由と思い納得しました。

『人は空間の中で生きているのではなく、生きていることが空間を創っている』
→生きていることによる空間とは“体の働き方”である。鍼灸手技療法是生きていることと直結した治療であり、機能的治療として体の働きへ良い効果を生む…。

鮎澤先生の講演序盤で拝聴した、宇宙の「宇」とは「空間」、「宙」とは「時間」。
健康とは？生命とは？という目に見えない事象を捉えるには、次元を超えた別の世界、そこにある「新しい知」が科学の限界を超える領域なのでしょう。

今、この原稿を書いている私自身の頭の中は、鮎澤先生の世界観が壮大すぎて……、オーバークロックしています（？）講演内容の理解は私の限界突破レベルですので齟齬がありましたらどうかご容赦願います。



講演風景

●第2部

「片頭痛を対象とした

鍼灸連携モデルの構築を目指して」

「頭痛に対する鍼灸治療の実際」

講師：石山 すみれ先生

(茨城県立医療大学 助教)



石山すみれ先生

石山すみれ先生といえば、今まさに日本鍼灸界の星。昨年2023年9月に「代田賞奨励賞」を受賞され、頭痛における鍼灸治療の権威であります。皆さまもご存じと思いますが、石山すみれ先生と本会理事の渡邊健先生（銀の森治療院院長・高木賞奨励賞受賞）は第1部の講師、鮎澤聡先生のご指導を受けた門下生です。

石山先生の講演ですが、「片頭痛」を主とした詳細なる頭痛の分類解説をされました。片頭痛は全国調査の結果によると15歳以上での有病率は8.4%であります。一次性頭痛を代表する片頭痛は程度の差はあれ国内で1,000万人いるともいわれ、実に身近な疾患であります。また片頭痛に罹患していても7割の方が医療機関未受

診ともいわれ、重症までいかない中程度の方々が相当多いといえます。

片頭痛の治療は薬物療法が基本となります。急性期と安定期（予防のため）の服薬がありますが、薬物使用過多による頭痛（MOH・Medication Overuse Headache）に陥る心配があります。

そこで！というわけではないのですが、頭痛における鍼治療ですが「頭痛診療ガイドライン2021年片頭痛の急性期・予防療法」において「推奨グレードB」となっております。薬物への依存、負のスパイラルを断ち切る意味では、片頭痛患者にとっての鍼治療がポテンシャルを発揮できればと思います。そのための臨床研究を続けられているのが石山先生であり、鍼灸業界の期待の星である理由です。薬物の副作用と比較して鍼治療は重大な副作用はなく、長期的な治療を受けても安全であるとのこと石山先生ご自身が証明されております。

片頭痛の病態は「三叉神経血管説」に加えて「疼痛関連領域の機能異常」が認められ、それに鍼治療が介入できる可能性を講演されました。石山先生の研究がさらに発展進化して、片頭痛の鍼治療効果がよりはっきり明るみとなれば推奨グレードがAランクへと格上げするかもしれないと、私も大変に期待を寄せている次第です。

石山先生の鍼治療実技は、丁寧に正確に、本当に優しい鍼を施す印象でした。会場の参加者との質疑応答を交え、充実した実技供覧となりました。私からの「片頭痛患者はいわゆる芸術家肌の方が多いのか？」という変な質問にも答えてくださり、回答は「芸術家のような方は臨床では診ていない」でした。ある程度長期間の鍼治療に通うには、時間的に余裕がある主婦の方が多く、芸術活動を生業としているような患者は今のところ石山先生は診ていないとのこと。芥川龍之介のような奇才だらけというイメージは間違いで、一般的な患者が多いことに何か安心と納得した次第です。



実技風景

【おわりに】

今年度の定期学術講習会も、会員の皆さまと受講された多くの方々により、素晴らしい講師の先生をお招きして盛会に終了できたことを感謝申し上げます。

普段勉強不足な私は、鮎澤聡先生と石山すみれ先生の講演の感想をまとめるのに四苦八苦しました。原稿を書きながら、昔々

勉強したことを思い出していると、若い頃に教わった言葉が浮かんできました。

『鍼灸は単なる物理刺激療法ではない』

この言葉は私の師匠の先生の言葉です。科学的エビデンスでは説明と理解ができない領域が、鍼灸療法に存在する意味です。

『鍼灸は、感覚異常、機能異常に力を発揮できるが、器質的疾患には力及ばない』

若い頃読んだ本、著者の先生の名前を忘れてしまってもこの言葉は覚えていました。鍼灸でがん疾患は治せないが、がん患者の症状を和らげてあげられる…。

私は卒後20年ですが、いまだに鍼灸のことがわからないことばかりで、奥深い底が見えない世界をいろんな人の声を頼りに手探りで歩いている状態です。

今回の鮎澤先生と石山先生の講演で、また少しヒントを得た気分です。鮎澤先生の仰った「機能的治療」とその機序、可能性。科学という領域を越えたパラダイム、そこにある「新しい知」と医療哲学。人と人のつながり・共感が生む力の可能性。石山先生が研究されている「疼痛関連領域の機能異常」に鍼治療が介入できる可能性。いろんな可能性を頼りに、また少し前進できたような気がします。

新年度も、皆さまにとって前向きな気持ちが多く訪れますように。そうあるように私たち福島県鍼灸師会一同も協力し合いながら、尽力していきます。

令和5年の暮れ 年越し蕎麦

会員 匿名の蕎麦爺

令和5年もあと3日あまり。コロナにだけは罹りたくないと避けていたら、おかげさまでなんとか罹らずに済んでいる。今年も健康に過ごせたことに感謝しながら毎年の年越し蕎麦を打つ。

今年は贈答用の蕎麦を少し減らし約10キロ打つことにした。それでも100人前。こういうとびっくりされるがなんてことない。

今年の蕎麦も、北海道・幌加内の田舎蕎麦。挽きが細かいので打つのも楽で、香り高く食べても旨い。

【さぁ打ち始め】

仕事が終わって来て一杯飲んで寝て、深夜1時に起きてさぁ打ち始め。『蕎麦小屋』は書齋だが、火の気がなくなんとも寒い。毎年のことだが寒気に身が引き締まる。

今年は多く打たないので1キロずつ丁寧に打ってみた。まず蕎麦粉1キロにツナギである中力粉を200グラム入れしっかり混ぜる。蕎麦の香りが立ち、挽きたての粉であるならこの香りだけで冷酒1合はイケそうだ。



幌加内のそば粉

次に水回し。そして練り。延して広げていく。

この冬はびっくりするくらいの暖冬だが、それでも打ち始めは足元がとても冷えるし、水回しで手が凍えてとても堪える。星空の澄んだ夜で風もなく、家の中は物音もせず。ただ蕎麦を捏ねては蕎麦台の軋む音がするだけ。孤独な蕎麦打ちを紛らわすように、スマホから音楽を流した。

【音楽を聴きながら】

1曲目はピーター・セテラの“*Hard to say I'm sorry*” 邦題は『素直になれなくて』。ただし、若かったころのシカゴのリードボーカル＝ピーター・セテラではなく、70歳になった頃のもの。同じく歳を取るなら、こういう歳の取り方をしたいも

のだ。恋人に突然の別れを告げられ、素直に受け入れられない男の心情を『素直になれなくて』というタイトルで表したという。曲を聴けば誰しもわかる名曲。



【思い出す患者さんたち】

無心で打っているようだが、いつしか年内に来ていただいた患者さんを思い出す。いろんな研修会や学会に出てさまざまな治療法を間近で見るのだが、自分のやっている治療法がその患者さんに最適だったのだろうか、いつも考え込んでしまう。

鍼灸の免許は取得してからもう40年近くになる。ほかに職歴はなく、この道一筋ではある。武者小路実篤の言葉にある『これよりほかに我を生かす道なし この道を行く』の開き直った心境ではあるが、まだまだ道に迷いはある。迷いと不安があるから、いろんな勉強会に顔を出しているのだろうな。

そういえば、青森県が生んだ偉大な板画（版画）家の棟方志功は、『アイシテモ愛しきれない オドロイテモ驚ききれない ヨロコンデモ喜びきれない カナシンデモ悲しみきれない それが版画です』と語っていた。版画を鍼灸に置き換えて、いつかそういう心境に至るのだろうかと思う。

【さて、蕎麦を切り】

年に数回しか打たないので、本当に上達しない。では2曲目はホイットニー・ヒューストンの代表作“*All at once*”。確か邦題はないが、『突然に』という意味のタイトル。先ほどの『素直になれなくて』は男がフラれた歌で、こっちは女性版の失恋の歌。もうそういう歳ではないが、昔はいろいろあったとしみじみ思い返す曲ではある。

そろそろ蕎麦打ちも終わりが見えてきた。3曲目は同じくホイットニー・ヒューストン主演の映画『ボディガード』の主題歌になった“*Always love You*”をしみじみ聴きながら蕎麦を切る。

【打ち終わり】

そろそろ寒空も白々と明けるころ、やっと打ち終わりに。

これは親戚や友人に配る100食。自宅用は今夜打つことに。今年は福鍼会の事業で、素人蕎麦打ちをやったそうだ。家族ぐるみで楽しめるイベントも楽しいと思う。我が家の孫も来年は小学校入学で、今度は一緒に蕎麦でも打ってみようと思う。



【お聴きください】

ピーター・セテラ

Hard to say I'm sorry

言わずと知れた、シカゴの名曲。その昔、郡山・大町に『モンクス』という、おそらくジャズの巨匠であるセロニアス・モンクから名を取ったであろうジャズバーがあった。非常勤講師で行っていた鍼灸学校の授業後に時々寄っていたいい店だった。ある夜、日大ジャズ研のジャムセッションの間に飛び入りの客が生声
でこの曲を歌っていた。あまりの上手さに一同驚いたのを覚えている。古川マスター、今頃天国で楽しくしているだろうか。



曲。そういえば、乳腺細胞由来で世界初となったクローン羊であるドリーの名は、この曲のもともとの歌手のドリー・パートンの豊満な胸を讃えて名付けられたという。今で言えば相当なセクハラではないか。



100 食

ホイットニー・ヒューストン

All at once

出会いも別れも人生では必定ではある。人間は生き物であるから、生も死もある。恋人に突然逃げられてもうろたえてはいけない。むしろ我々の歳になったら、突然死だけは避けたいものだ。



【令和5年は良い年だったか】

令和5年の診療は、日付が変わった今日一日と、明日の半日を残すのみ。あっという間に終わってしまった令和5年。今年は3年間休止した東北鍼灸学会に参加できて、東北の鍼灸の旧友たちと再会し素晴らしい年になった。こんなにも素晴らしい仲間が大勢いたかと再認識できた。

令和6年は5月に東北で3回目となる第73回全日本鍼灸学会学術大会宮城大会が開催される。全国の旧友に会えるであろうこの大会、とても楽しみだ。

Allways love You

もともとは、アメリカのカントリー歌手ドリー・パートン作詞作曲のヒット曲。映画『ボディガード』でホイットニー・ヒューストンが歌い全米シングルチャートで14週連続1位のほか、グラミー賞など様々な賞を総なめにしたすごい



【表紙写真について】

桜峠のオオヤマザクラ 北塩原村

喜多方から裏磐梯に行く途中ラビスパ裏磐梯という保養施設があり。その西斜面一帯にオオヤマザクラが見事な場所があります。通称桜峠と呼ばれている場所で5月の連休頃満開になります。

(写真撮影：斎藤俊介)

【編集後記】

山内隆一先生から編集責任者を引き継ぎ、初めての作業ばかりで悪戦苦闘しながらもなんとか発行することができました。この場をお借りして原稿依頼を快く引き受けてくださった先生方、表紙の写真を提供いただいた斎藤俊介先生、編集作業を手取り足取りご指導くださった山内隆一先生に心よりお礼を申し上げます。

編集の「へ」の字もわからない初心者が引き継ぎましたので、『整っていない』、『見にくい』、『読みにくい』等、様々なご意見があると思います。その際は大量のオブラートに包んでお伝えいただければ幸いです。(S)

発 行 : 一般社団法人福島県鍼灸師会

発 行 日 : 2024年3月13日

発 行 者 : 三瓶真一

事 務 局 : 会津若松市門田町大字飯寺字村西 366 TEL 0242-29-8101

編集責任者 : 三瓶和樹

編 集 委 員 : 太田友理香・小沼慎介・柏原修一・品川慶法・白井和弥・高橋吉明・橋本修一
益子勝良・三村聡・渡邊健

印 刷 : (有)タカハシ印刷 会津若松市一箕町大字亀賀字川西 167-2 TEL 0242-25-4701

私立 仙台赤門短期大学

日本初の新学科開設
鍼灸手技療法学科(仮称)保健
衛生学

令和7年4月開設予定(設置構想中) 入学定員:50名(3年制)

私立 仙台赤門短期大学「鍼灸手技療法学科(仮称)」について

「統合医療(Integrative Medicine)」を目指す動きが世界的な広がりを見せる昨今、その一翼を担う東洋医療は高い関心を集めています(2018年WHO国際疾病分野「伝統医療」登録)。

そうした背景を受け、仙台赤門短期大学は東洋医学学会としての70余年の伝統を継承し、技術を磨き上げる実習体制を基に、伝統医学治療者としての進化と医療人としての真価へと導く「鍼灸手技療法学科(仮称)」を新たに開設します。新学科設置は設置構想中であり、変更される可能性があります。

「鍼灸手技療法学科(仮称)」の特長

- 3つの国家資格(あん摩マッサージ指圧師／はり師／きゅう師)が取得できます。
- スポーツ・美容・福祉・治療院等の仕事に直結する3年間の学び。
- 付属治療院や市町村主催スポーツ大会の現場で実践力を養います。
- プロスポーツ現場の第一線で活躍された先生や治療院開業の先生方が指導します。
- 当学校法人には創設76年の伝統があり、卒業生ネットワークは全国に広がります。

取得可能な国家資格

あん摩マッサージ指圧師／はり師／きゅう師

卒業後に活躍できる分野

治療院

スポーツ
分野

美容分野

介護・福祉
分野

病院・医院

マッサージ
分野

プロになる。

FUKUSHIMA IRYO

2024 学生募集中

治療院院長推薦で
入学金減免制度あり

 柔整科  鍼灸科  歯科衛生士科

ちえ、わざ、こころ。

学校法人平成医療学園
厚生労働大臣指定

福島医療専門学校

| 柔整科 | 鍼灸科 | 歯科衛生士科 |

〒963-8026

福島県郡山市並木三丁目2番地の23
TEL.024-933-0808 FAX.024-933-7887

<https://www.f-iyo.ac.jp/>

入試・広報に関するお問い合わせはこちら

TEL.0800-800-1327

通話料無料 受付時間 9:00~18:00 土・日・祝日・年末年始は除く



本校HP

デイスポ鍼 光華 4P

KOKA



刺入時の切皮痛を
極限にまで減少しました。

- アレルギー予防のコーティング
- 低コストパフォーマンス

灸頭鍼・鍼電極低周波治療器用の
電極に使えます。

- 灸頭鍼に使用する場合は、太さ φ0.20mm (3番鍼) 以上のものでご指定ください。
- 鍼電極低周波治療器の電極として使用する場合は、太さ φ0.20mm (3番鍼) 以上のものでご指定ください。
- 本製品はJIS T9301:2016 単回使用ごうしん (毫鍼) に適合しています。

デイスポ鍼 光華 4P
1箱200本入 (1パック4本入×50パック)
KN-167 **1,700円**
(税込1,870円)

〔クラスII〕
認証番号 220AGBZX00234Z00
針体材質：ステンレス製
エチレンオキサイドガス滅菌済

サイズ表

長さ	カラー	1寸 30mm	1寸3分 40mm	1寸6分 50mm
0番 (0.14mm)	白	○	○	
1番 (0.16mm)	緑	○	○	○
2番 (0.18mm)	黄	○	○	○
3番 (0.20mm)	青	○	○	○
4番 (0.22mm)	桃		○	○
5番 (0.24mm)	紫		○	○



製造販売元

株式会社 **カナケン**
本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL_045-901-5471(代) FAX_045-902-9262

大阪営業所：TEL_06-6935-3016代 FAX_06-6935-3017
新潟営業所：TEL_025-286-0521代 FAX_025-286-8870
福島営業所：TEL_024-961-7211代 FAX_024-961-7221
仙台出張所：TEL_022-287-6273代 FAX_022-287-6218



オンラインショップ

◀公式サイトはこちら

<https://e-kenkou.jp/>